

公益財団法人循環器病研究振興財団

2021年 研究発表会

第18回循環器疾患看護研究助成研究発表

◆ 日 時 ◆

2021年10月10日（日）10:10～11:10

◆ 会 場 ◆

オンライン開催
Studio 02

◆ 共 催 ◆

公益財団法人循環器病研究振興財団
第18回日本循環器看護学会学術集会

研究発表会の開催にあたって

この度、第18回日本循環器看護学会学術集会の指定共同企画として、当財団の助成事業であります「循環器疾患看護研究助成」の研究発表会を開催することになりました。

本研究発表会を開催するにあたり多大なご尽力を賜りました、第18回日本循環器看護学会学術集会の前田靖子会長をはじめ、関係各位に心より御礼申し上げます。

2019年12月施行の循環器病対策基本法により循環器病の予防、生活習慣の改善、医療機関では良質かつ適正な医療の提供など循環器病医療が大きく変わっていく本法の成立により、当財団といたしましても循環器病等に関する啓発及び知識の普及等の施策に協力するよう努めなければならないと思っております。

脳卒中、心筋梗塞などの急性疾患では看護の量的・質的な違いが患者さんの転帰に大きく影響するものであり、最近では色々な職種の専門家によるチーム医療の大切さが強調されています。

しかしながら、看護領域への公的な研究費は極めて少ないのが現状です。そこで、当財団では、「循環器疾患看護研究助成」を実施することにより、看護師の研究心を高めて頂くとともに、より質の高い看護の提供をして頂くための一助となることを願っております。

いずれの研究課題も全国公募し、専門家で構成される選考委員会において審査基準をクリアした課題に対して、一定額の研究費を助成させて頂いております。

今後もこのような助成を継続的に実施していけるよう鋭意邁進して参る所存ですので、皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

なお、本年の発表会は、COVID-19 蔓延のため、会長の御主旨に合わせウェブ発表の発表会として開催させて頂きます。

公益財団法人循環器病研究振興財団
理事長 北村 惣一郎

プログラム

■ 座 長： 伊藤 文代（洛和会TQM支援センター・部長）

研究課題 1

日本語版 Leuven Knowledge Questionnaire for Congenital Heart Disease
（先天性心疾患のためのLeuven 知識調査票）の開発および妥当性の検討

■ 演 者：秋山 直美（横浜市立大学大学院・博士前期課程大学院生）

研究課題 2

在宅療養を支える慢性心不全看護認定看護師の実践

■ 演 者：北 麻友子（関西医科大学大学院・博士前期課程大学院生）

研究課題 3

循環器病棟看護師の心不全患者に対する意思決定支援の実際と認識

■ 演 者：安川 千晶（京都光華女子大学・助教）

研究課題 4

補助人工心臓（VAD）装着患者の健康関連QOLの長期的変化：治療戦略別での
比較検討

■ 演 者：浅瀬 万里子（国立循環器病研究センター・臨床研究コーディネーター）

メ モ